

令和元年度事業報告書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

特定非営利活動法人

沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

1 事業の成果

昨年より小学生の居場所で b&g からふる田場と中高生不登校の居場所でうるま kukulu の 2 事業所が新たにスタートした。うるま市では障害福祉事業所のコミュット！と合わせてライフステージに即した（青年期、中高生期、小学生期）居場所支援が展開できたこと、行政への政策提言や地域との連携も強化することができた。

麒麟福祉財団の助成事業では、うるま市内で子どもの居場所・交流やネットワーク化を目指して事業を実施した。地域で活動する子ども食堂や居場所との集合研修や意見交換会を実施しネットワーク強化の取り組みを行なった。

また、那覇市では子どもの貧困から子どもの権利にシフトする取り組みとして、助成金を活用した子どもの権利に関する連続講座と講演会を実施した。那覇市でも子どもの権利に関する取り組みは3年目となり、事業効果としては那覇市議会でも子どもの権利条例について議論がスタートしたこと、沖縄県では子ども未来応援条例（当法人含む民間団体の連盟で提言）も可決され、県内での活動に関して一定の成果を上げることができた。

今年度は法人で運営する居場所が 4 事業（那覇市 1、うるま市 3）となり、不登校やひきこもり青年や子どもの貧困対策に対する、支援体制の強化ができた。また、4 事業の子ども・青年の状況を踏まえて講演会などで発進・啓発する事業も行えた。次年度もその取り組みを推進していきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
社会に自立するのに困難を抱えている、または抱えそうな子ども・若者の社会参加支援事業	子どもの居場所づくり支援事業 (kukulu)	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	那覇市	9 人	中学生・高校生の不登校児 延べ 4716 人	70,011,814 円
	「子ども未来ジョイントプロジェクト助成事業」	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	那覇市	4 人	中学生・高校生の不登校児 延べ 73 人	
	いどばたごはん会	平成 31 年 4 月～令和 2 年	那覇市	3 人	年間 11 回 延べ 23 人参加	

		2月				
	「生きづらさ」を抱える子ども・若者参加型eスポーツ大会	令和元年9月19日～令和2年1月29日まで	那覇市	6人	不登校・ひきこもり当事者及び保護者、関係者 延べ192人	
	b & g からふる田場	平成31年4月から令和2年3月	うるま市	6人	幼稚園・小学校・中学生 237日開所延べ 人数2476人参加	
	うるま市若者居場所運営支援事業	令和元年7月～令和3年3月	うるま市	8人	中学生・高校生の不登校児 延べ 470人	
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	障害福祉就労移行・継続B型事業所	平成31年4月 ～	うるま市	7人	障がいをお持ちの方 就労移行 延べ334人 継続B型 延べ3278人	22,330,273円
	就労支援事業 ・ホテル実習 ・子どもの家事業 (環境整備等)	令和2年3月	うるま市	7人	ホテル実習 延べ666人 子どもの家事業 延べ141人	
その他目的を達成するために必要な事業	啓発活動① 2019年度 那覇市地域福祉基金事業 全4回 連続講座 「子どもの人権」「子どもの権利」を守る・支援する・創る	令和元年11月から令和2年2月	県内	8名	延べ118名参加	513,181円